

平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月30日

上場会社名 株式会社 ディーエムエス
 コード番号 9782 URL <http://www.dmsjp.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 克彦
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部部长代理 (氏名) 橋本 竜毅

TEL 03-3293-2961

四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	9,692	14.1	354	△14.2	350	△11.9	245	3.3
27年3月期第2四半期	8,497	0.7	413	△5.0	397	△4.4	238	0.6

(注)包括利益 28年3月期第2四半期 208百万円 (△12.8%) 27年3月期第2四半期 239百万円 (△26.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	42.22	—
27年3月期第2四半期	40.87	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	13,271	8,899	8,899	67.1	1,528.25	
27年3月期	13,875	8,778	8,778	63.3	1,507.42	

(参考)自己資本 28年3月期第2四半期 8,899百万円 27年3月期 8,778百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,504	9.4	1,004	△7.5	974	△8.3	603	△8.2	103.55

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正につきましては、本日(平成27年10月30日)公表しました「第2四半期業績予想との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	7,262,020 株	27年3月期	7,262,020 株
28年3月期2Q	1,438,811 株	27年3月期	1,438,811 株
28年3月期2Q	5,823,209 株	27年3月期2Q	5,823,250 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外景気の下振れ懸念があったものの、各種政策の効果により、雇用・所得環境は改善傾向が続き、緩やかな回復基調で推移しました。

当社グループ（当社および当社の子会社）に関連する広告業界におきましては、こうした影響により、安定的に推移する状況となりました。

このようななか当社は、ダイレクトメール、セールスプロモーション、イベントといった顧客企業にとっての手段を提供するだけでなく、それらを使って「ユーザーともっとよい関係を作りたい」、「より多くの商品・サービスをご利用いただきたい」といった顧客企業にとっての「売れる仕組みづくり」の支援を目指しております。

こうした取り組みのもと、営業部門では、課題解決提案型の活動を推進し、新規顧客開拓と既存顧客との取引拡大を積極的に展開してまいりました。また現業部門では、情報処理や生産・品質管理の技術を高めるとともに、先端的なデジタルプリンタやメーリングマシンを駆使し、業務効率の向上により利益貢献をしてまいりました。また、拡大する通販市場を捉えた「EC・通販出荷代行サービスの開発」や業務領域の拡大とサービスの付加価値を創る「マーケティングサービスの強化」、「Web・モバイルマーケティングサービスの開発」といった戦略的な課題にも取り組んでまいりました。

この結果、当社グループの当四半期連結累計期間の売上高は、96億92百万円（前年同期比14.1%増）となりました。一方、営業利益は、3億54百万円（同14.2%減）となりました。経常利益は、営業外収益が16百万円（同61.6%増）、営業外費用が21百万円（同18.3%減）となった結果、3億50百万円（同11.9%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、税金費用を1億2百万円としたことにより2億45百万円（同3.3%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①ダイレクトメール部門

企画制作から情報処理、封入封緘を一括して手がけるトータルサービスによりダイレクトメールの受注が好調に推移しました。また、新たに増強したロジスティクスセンターを活かした物流サービスを加えた提案型営業を積極的に展開しました。その結果、売上高は既存先からの受注増や新規先の獲得によって、87億48百万円（同15.1%増）となりました。一方、セグメント利益は期首に開設した川島ロジスティクスセンターに係る費用が受注進捗に対して先行している影響などにより、4億75百万円（同12.2%減）となりました。

②セールスプロモーション部門

各種販促支援および企画制作業務に注力したことにより、新規に販促キャンペーン業務の受注につながったことで売上高は5億52百万円（同4.6%増）となりました。一方、セグメント利益は前の期にあった高採算のキャンペーン案件が当期において実施されなかった反動などにより、66百万円（同24.6%減）となりました。

③イベント部門

販売促進・観光振興・スポーツイベントなどの運営・警備業務に注力した結果、新規案件の獲得によって売上高は3億43百万円（同6.3%増）、セグメント利益は16百万円（同106.3%増）となりました。

④賃貸部門

千代田小川町クロススタビル（東京都千代田区）等の売上高は38百万円（同22.4%増）、セグメント利益は15百万円（同117.1%増）となりました。大幅な増収増益の理由は、一部の賃貸借契約において契約期間内の解約が発生したため、解約違約金の一部を収益計上したことによるものです。

(2) 財政状態に関する説明

①資産の状況

当四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて主に現金及び預金が1億50百万円増加しましたが、売上債権が6億89百万円減少したことにより、全体として52億19百万円（前連結会計年度末比5億37百万円減）となりました。

当四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べて主に減価償却費の計上等で有形固定資産、無形固定資産および投資不動産が54百万円減少したことにより、全体として80億47百万円（同64百万円減）となりました。

当四半期連結会計期間末の繰延資産は、社債発行費が4百万円（同1百万円減）となりました。

その結果、資産合計では、132億71百万円（同6億3百万円減）となりました。

②負債の状況

当四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて主に仕入債務が2億21百万円、未払金が2億32百万円減少したことにより、全体として28億16百万円（同4億85百万円減）となりました。

当四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べて主に社債が55百万円、長期借入金が1億25百万円、長期リース債務が23百万円それぞれ減少したことにより、全体として15億56百万円（同2億39百万円減）となりました。

その結果、負債合計では、43億72百万円（同7億25百万円減）となりました。

③純資産の状況

当四半期連結会計期間末の純資産は、主に利益剰余金では親会社株主に帰属する四半期純利益2億45百万円の計上と配当87百万円を支払ったことにより、差し引きで前連結会計年度末に比べて1億58百万円の増加となりました。そのほか、株式市場の下落を受けてその他有価証券評価差額金が33百万円（税効果を除く）減少したことにより、純資産合計では88億99百万円（同1億21百万円増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年10月30日発表の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）および「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間および前連結会計年度については、四半期連結財務諸表および連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,604,651	1,754,893
受取手形及び売掛金	3,478,357	2,789,062
仕掛品	338,543	342,795
立替郵送料	67,838	79,136
繰延税金資産	113,374	109,084
その他	184,622	175,032
貸倒引当金	△30,003	△30,568
流動資産合計	5,757,383	5,219,435
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,561,935	2,536,238
機械装置及び運搬具（純額）	361,770	375,742
土地	2,830,100	2,830,100
リース資産（純額）	114,951	96,381
建設仮勘定	109,409	109,409
その他（純額）	84,896	76,928
有形固定資産合計	6,063,063	6,024,801
無形固定資産	57,478	53,551
投資その他の資産		
投資有価証券	675,604	625,663
投資不動産（純額）	911,588	899,723
その他	404,528	444,195
投資その他の資産合計	1,991,721	1,969,582
固定資産合計	8,112,263	8,047,934
繰延資産		
社債発行費	6,025	4,461
繰延資産合計	6,025	4,461
資産合計	13,875,672	13,271,832

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,650,987	1,429,168
1年内償還予定の社債	90,150	100,150
短期借入金	358,550	330,050
リース債務	46,999	46,639
未払法人税等	176,773	129,753
賞与引当金	216,819	223,482
その他	761,730	557,217
流動負債合計	3,302,011	2,816,461
固定負債		
社債	342,250	287,175
長期借入金	1,020,300	894,900
リース債務	103,297	80,101
繰延税金負債	184,619	169,799
退職給付に係る負債	24,875	31,177
役員退職慰労引当金	59,750	47,725
再評価に係る繰延税金負債	19,357	19,357
その他	41,156	25,765
固定負債合計	1,795,606	1,556,001
負債合計	5,097,617	4,372,462
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,092,601	1,092,601
資本剰余金	1,468,215	1,468,215
利益剰余金	7,327,114	7,485,675
自己株式	△582,756	△582,756
株主資本合計	9,305,174	9,463,735
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	219,741	186,551
土地再評価差額金	△815,417	△815,417
退職給付に係る調整累計額	68,556	64,499
その他の包括利益累計額合計	△527,119	△564,366
純資産合計	8,778,054	8,899,369
負債純資産合計	13,875,672	13,271,832

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	8,497,364	9,692,829
売上原価	7,512,129	8,784,218
売上総利益	985,234	908,611
販売費及び一般管理費	571,652	553,714
営業利益	413,582	354,896
営業外収益		
受取利息	762	756
受取配当金	4,628	5,585
雑収入	5,054	10,533
営業外収益合計	10,445	16,875
営業外費用		
支払利息	24,786	19,905
その他	1,591	1,655
営業外費用合計	26,377	21,560
経常利益	397,649	350,210
特別利益		
固定資産売却益	46	—
特別利益合計	46	—
特別損失		
固定資産除却損	203	1,339
特別損失合計	203	1,339
税金等調整前四半期純利益	397,492	348,871
法人税、住民税及び事業税	157,786	94,803
法人税等調整額	1,673	8,158
法人税等合計	159,460	102,961
四半期純利益	238,032	245,909
親会社株主に帰属する四半期純利益	238,032	245,909

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	238,032	245,909
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,190	△33,189
退職給付に係る調整額	3	△4,056
その他の包括利益合計	1,193	△37,246
四半期包括利益	239,225	208,663
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	239,225	208,663
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	397,492	348,871
減価償却費	189,306	210,902
社債発行費償却	1,563	1,563
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	7,181	307
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	3,852	△12,025
賞与引当金の増減額 (△は減少)	11,935	6,662
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2,668	564
受取利息及び受取配当金	△5,390	△6,342
支払利息	24,786	19,905
有形固定資産売却損益 (△は益)	△46	—
有形固定資産除却損	203	1,339
売上債権の増減額 (△は増加)	547,682	675,403
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△118,716	△4,251
立替郵送料の増減額 (△は増加)	34,878	△12,796
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△75,570	9,484
その他の固定資産の増減額 (△は増加)	1,580	1,546
仕入債務の増減額 (△は減少)	△78,441	△221,819
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	161,180	△70,953
その他	469	798
小計	1,106,616	949,162
利息及び配当金の受取額	4,760	5,712
利息の支払額	△24,668	△19,869
保険金の受取額	—	8,497
法人税等の支払額	△264,024	△143,056
営業活動によるキャッシュ・フロー	822,683	800,446
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	10,000	—
有形固定資産の取得による支出	△154,760	△291,541
有形固定資産の売却による収入	46	—
貸付金の回収による収入	1,139	409
差入保証金の差入による支出	—	△44,839
その他	△5,410	△4,652
投資活動によるキャッシュ・フロー	△148,984	△340,623

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△20,750	△24,500
リース債務の返済による支出	△21,137	△23,556
長期借入金の返済による支出	△156,545	△129,400
社債の償還による支出	△45,075	△45,075
配当金の支払額	△86,427	△87,048
財務活動によるキャッシュ・フロー	△329,935	△309,580
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	343,762	150,242
現金及び現金同等物の期首残高	1,455,645	1,456,651
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,799,408	1,606,893

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	ダイレクト メール部門	セールス プロモーション 部門	イベント 部門	賃貸部門	計		
売上高							
外部顧客への売上高	7,598,509	528,294	323,504	31,129	8,481,438	15,925	8,497,364
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	60	60	188	248
計	7,598,509	528,294	323,504	31,189	8,481,498	16,113	8,497,612
セグメント利益	541,889	88,640	8,130	7,357	646,018	10,351	656,369

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、家電製品販売を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	646,018
「その他」の区分の利益	10,351
セグメント間取引消去	△248
全社費用(注)	△242,539
四半期連結損益計算書の営業利益	413,582

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	ダイレクト メール部門	セールス プロモーション 部門	イベント 部門	賃貸部門	計		
売上高							
外部顧客への売上高	8,748,714	552,852	343,930	38,117	9,683,615	9,213	9,692,829
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	0	0	60	60	193	253
計	8,748,714	552,852	343,930	38,177	9,683,675	9,406	9,693,082
セグメント利益	475,523	66,829	16,774	15,971	575,099	4,841	579,941

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、家電製品販売を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	575,099
「その他」の区分の利益	4,841
セグメント間取引消去	△253
全社費用(注)	△224,791
四半期連結損益計算書の営業利益	354,896

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。